

令和3年度 京都市立楊梅幼稚園教育目標・経営方針  
学校教育の重点 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

教育目標 健康で、心豊かに、自分で考え、夢中になり、没頭して遊ぶ子どもの育成

自ら学ぶ力

【目指す子ども像】

探 究：自ら考え、夢中で没頭して遊ぶ子ども  
ふれあい：ものやこと、人とのふれあいを喜ぶ子ども  
誇 り：自分や友達を大切にする子ども

自ら律する力

【目指す幼稚園像】

- ・子ども、保護者、教職員が探究し、育ち合う幼稚園
- ・子ども、保護者、地域とのふれあいを大切にし、安心できる居場所となる幼稚園
- ・教職員が協働し、誇りをもてる幼稚園

【目指す教職員像】

- ・それぞれの専門性を活かしながら一人一人の子どもが自己発揮できるよう探究し、高め合う教職員
- ・子ども、保護者、地域の方々とのふれあいを大切にし、信頼関係を築く教職員
- ・楊梅幼稚園を愛し、職務に誇りをもつ教職員

安心できる居場所

園内研修主題

『心が動く』保育・授業の創造

～9年間で「主体的・対話的で、深い学び」を大切にしながら「資質・能力」を育む～

経営方針

【保育の充実、教職員資質の維持、向上】

- ・子ども一人一人の命が尊いものであり、守りきる認識の下、健康に過ごし、安心した居場所の幼稚園となる。
- ・子ども一人一人がかげがえのない存在であるという認識の下、多様な能力や個性を生かし、誰一人取り残さない保育を推進する。
- ・子ども一人一人の輝きを大事にし、夢中になって遊び、没頭できる保育を充実する。
- ・子どもに寄り添い、共感し、子どもから学ぶ姿勢をもち、教職員が常に探究を深め、高め合う。
- ・子どもの実態に応じ、保育改善やカリキュラム・マネジメントを行う。

【校種間連携の継続、深化】

- ・社会に開かれた教育課程を実践する。
- ・下京雅小学校との合同研究組織の一員となり、9年間を見通した子どもに育みたい資質能力を捉え、子どもが夢中になり、没頭する保育の展開及び公開保育や合同研修を実施する。
- ・小・中学校、就園前教育施設との連携のモデル園として発信する。

【家庭や地域との連携】

- ・地域の自然、文化に触れ親しむ経験を展開する。

【PTA・おやじの会・学校運営協議会との連携】

- ・安心できる居場所となる預かり保育や未就園児教育相談の充実を図る。
- ・学校評価(教育目標を捉えた評価項目の設定。内部評価や関係者評価の実施。結果分析と公表)による保育改善を行う。